





発行者 角 智子 〒690-0064 島根県松江市天神町132  
TEL.(0852) 28-8880 FAX.(0852) 28-8881  
E-mail sumi@tomachan.net  
U R L http://www.tomachan.net/

# とまちゃん通信



一問一答で質問する

国は、自殺対策の基金を26年度末まで延長され、若干の資金の追加も行われる。県としても、そういう基金も使いながら、各世代が抱える課題への対応など、実態に即したきめ細かい取り組みができるよう、全力を挙げていきたい。

### 栄養指導による健康管理

●平成18年度に策定された食育計画も、本年が最終年となるが、計画された目標値の達成状況はどのようか。

健康福祉部長 32項目の目標を設定し推進してきた。

そのうち目標を達成した項目は、学校給食での地場産物の活用割合、食事バランスガイドの認知度、内臓脂肪症候群の認知度などの11項目。目標達成をしていないが、計画時より改善できた項目が10項目。また計画時より変わらなかった項目が8項目。残りの3項目が、20歳代の女性と30歳代の男女の朝食の欠食割合で悪化が見られた。

●児童生徒の食育指導を行う栄養教諭の配置状況、また学校栄養士から栄養教諭にかえて配置したことによる効果は。

健康福祉部長 平成19年度から、従来の給食管理を主たる職務とする学校栄養職員にかわり、新たに給食管理と食に関する

指導を一体的に行うことを職務とする栄養教諭を配置することとした。平成19年度は、14名の配置で始まり、その後、計画的に増員し、今年度は、小中学校、特別支援学校に60名の栄養教諭を配置している。

●最近、健康器具メーカーであるタニタの社員食堂が大変話題になっているが、社会に出たらほとんどどの人は日々の食事を通しての食指導を受ける機会がない。管理栄養士などが関わることが少ない世代では、このようにして栄養指導を行っているのか。

健康福祉部長 児童生徒以外における栄養士の関わりとして、乳幼児健診や離乳食教室を通して、保護者に対し、望ましい食生活についての栄養指導を実施している。また、農業体験や生産者との交流、料理教室など食育活動を行っている。

●国は、管理栄養士による食の指導の必要性から、各自治体に管理栄養士の配置を求め、交付税措置もしているが、県及び市町村の行政栄養士の配置状況は。

健康福祉部長 県の行政栄養士は、本庁及び保健所に11名を配置。市町村では15市町に38名の栄養士が配置されている。なお未設置の4市町村では、地域の管理栄養士などを雇い上げている。

●これまでの取り組みの中で見えてきた課題の解決のために取り組むべきことは何か。

健康福祉部長 若年層の朝食の欠食や野菜の摂取不足などアンバランスな食生活、それによる生活習慣病の増加、壮年期の男性の肥満などの課題がある。この背景には、朝食を食べる習慣がない。食わず嫌いなどにより食材の味自体を知らない。調理をしたことがないなど、食に関する習慣、経験の不足が起因している。



第5大橋から3つの川を臨む

### 第5大橋を渡る

10月28日、松江市退職者会のウォーキングクラブが主催する会で、現在建設中の第5大橋（縁結び大橋）を渡りました。

大橋の北側で、工事担当者から工事概要、進捗状況の説明を受けました。この橋は北から朝酌川、剣先川、大橋川の3つの川を渡る橋で、橋には自転車歩行者道も並設してあり、私たちがこの部分を歩き、橋を渡って東津田まで行きました。また降り口は閉鎖されているため、そこで引き返し、全長1.5kmを往復



白濁サロンの徳岡先生から説明を受ける

普段、陸上からは、この3本の川が並行して流れているところは見ることがないので、改めて、大橋川の形状を皆さん確認していました。また、松江市の市街地も望むことができ、眺望は満点でした。

### 大橋川沿いのまち

「大橋川を見て歩こう」が島根大学白濁サロンの企画で徳岡隆夫島大名誉教授を講師に実施されました。11月5日、12月4日の、2回開催され、私も



末次大火後作られた大橋川沿いの道

江戸時代の地図を見ると、くびきメッセ周辺は、湿地帯で水路がいくつも走っているのですが、今でもよく見て歩くとその水路を見ることが出来ます。現在では、コンクリートで固められ路面も垂直になって、単なる溝にしか見えないようなものもあり、かつての水路の役割がわからなくなっています。

昭和6年には、末次大火がありました。当時は川を家の裏側にして家が建ち並び、川の水をくみ上げて消火しようにもたどり着けず、川のそばに町がありながら大火事になりました。

大火後、区画整理の中で、各家が土地を提供し、そして川の方へもせり出すことによって土地が確保され、いまは川岸に道路が造られています。

また、大橋川の南側では、大正天皇が皇太子の時の行幸の際、見苦しくないようにと、景観を損ねる川岸に立ち並ぶ漁師の家が移転させられたり、家の一部がとり壊されたりして道路がつくられました。

何気なく見ている大橋川にもいろいろな歴史があり、今の景観が形づくられています。

### 川をきれいに

NPO法人自然再生センターが主催する「みんなが中海をきれいにしよう」に12月11日に参加しました。これは準絶滅危惧種であるオオクダの保護と葦の生育を助けよう企画されました。意宇川河口の砂浜に打ち寄せたゴミをみんなで回収して生育しやすい環境をつくらうというものです。

自然再生センターの呼びかけで集まった約30人が参加し、1時間あまりの作業でしたが、ゴミがきれいに片づけました。今後定期的実施し、きれいな川にしようということで散会しました。



川岸のゴミを拾い集める

### お知らせ

紙面の限られた中での報告ですので、十分伝えきれないこともあります。お声掛け頂ければ、皆さんのところに参ります。

また、ブログなどで逐次報告していますのでご覧ください。「とまちゃん」で検索していたら、ただいま、たどり着けません。

次回定例会は、2月20日から3月16日までの予定です。お時間のある方は、傍聴にお出かけください。

【問合せ先】TEL2888880